

事業報告書 (令和2年度)

事業名 岡山市立少年自然の家 ファミリー農園クラブ

団体名 岡山市立少年自然の家 ファミリー農園クラブ 担当者名 徳永 充生

※活動の様子がわかる写真(データもお願いします)と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容(日時、場所、参加対象者、人数、内容等)

令和2年5月31日(日)・7月26日(日)・10月4日(日)・11月22日(日)・12月15日(日)の5回を日帰りを実施する予定だった。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、参加される家族の健康と安全を第一に考え、感染症予防対策として18家族が一堂に集わないようにするために開催の形態を分散型(期間や希望日時を設ける)にして、それぞれの家族の希望日に参加してもらうように工夫して実施した。

○第1回 令和2年5月19日(火)～6月14日(日)までの期間で、各家族の希望日に参加してもらう。

【場所】自然の家・まやかみ農園

【参加対象者・人数】18家族・67名

【活動内容等】

- ・都合のよい日に、自然の家に来所し、ファミリースペースの抽選を行い、そのファミリースペースの土地に野菜の苗や種を植えてもらう。
- ・まやかみ農園の方に、植え方などを指導してもらう。

○第2回 令和2年7月11日(土)～7月19日(日)までの期間で、各家族の希望日に参加してもらう。

【場所】自然の家・まやかみ農園

【参加対象者・人数】18家族・65名

【活動内容等】

- ・まやかみ農園でジャガイモの収穫体験をする。
- ・収穫したイモは、お一人様200円で1.5kgで持ち帰ってもらう。
- ・まやかみ農園の方から、ジャガイモの収穫の仕方などを指導してもらう。
- ・ファミリースペースでの活動(畑の手入れ・野菜の収穫・苗の植え等)

○第3回 令和2年9月26日(上)・9月27日(日)の2日間で、どちらも9:00と10:30で、各家族の希望日に参加してもらう。

【場所】自然の家・マスカット園・まやかみ農園

【参加対象者・人数】17家族・58名

【活動内容等】

- ・マスカット園で、マスカットオブアレキサンドリアの収穫体験をする。
- ・お一人様300gまで300円とし、家族の総重量g「300g×参加人数」を持ち帰ってもらう。

・まやかみ農園の方に、美味しいブドウの見分け方などを指導してもらおう。

・ファミリースペースでの活動（畑の手入れ・野菜の収穫・冬野菜の植え等）

○第4回 令和2年11月21日（土）・22日（日）の2日間で、どちらも9:30と11:00
で、各家族の希望日に参加してもらおう。

【場所】自然の家・まやかみ農園

【参加対象者・人数】13家族・45名

【活動内容等】

・野菜（サトイモ・ミズナ・コマツナ・チンゲンサイ）の収穫体験をする。

・お一人様200円として、「200円×参加人数」相当の野菜が収穫できるように各家族
に野菜収穫リスト（サトイモ○株+薬物野菜○株）を提示し、その野菜分を収穫し
て持ち帰ってもらおう。

・まやかみ農園の方から、できのよい野菜の見極め方や収穫の仕方並びに、来年度の
ファミリー農園クラブで収穫する玉ネギの定植の仕方などを指導してもらおう。

・ファミリースペースでの活動（畑の手入れ・野菜の収穫など）

○第5回 令和2年12月12日（土）・13（日）の2日間で、どちらも9:30と11:00
で、各家族の希望日に参加してもらおう。

【場所】自然の家・まやかみ農園

【参加対象者・人数】15家族・52名

【活動内容等】

・野菜（ミニ白菜・サトイモ・青首ダイコン・小カブ・聖護院カブ・チンゲンサイ・
ミズナ・コマツナ）の収穫体験をする。

・お一人様200円として、「200円×参加人数」相当の野菜が収穫できるように各家族
に野菜収穫リスト（ミニ白菜○玉+薬物野菜○株）を提示し、その野菜分を収穫し
て持ち帰ってもらおう。

・まやかみ農園の方から、できのよい野菜の見極め方や収穫の仕方などを指導しても
らう。

・ファミリースペースでの活動（野菜の収穫や畑の整備など）

・今年度最後の活動後に、アンケートにより活動の振り返りをしてもらう。

2. ESDの視点を取り入れたところ、ESDの視点で見直したところ

・ファミリースペース（家族の畑）活動で、土を耕し、畝を作り、作物を植え育て、収
穫する一連の活動を通して、農業の楽しさと難しさを知り、「食」について継続して考
えてもらう。

・まやかみ農園やマスカット園での農業体験や収穫体験を通して、スーパーなどで売っ
ている野菜や果物がどんな状態で育っているかを知ったり、家庭で食材を無駄なく使
い切る努力や家族の絆を深めたりする。

3. 取組の成果（参加者にどのような意識や行動の教育上の成果があったか。感想など）

・今年度の参加家族は18家族で、そのうち5家族がリピーターであった。各家族に、
約5㎡に区割りしたファミリースペースを提供し、年間を通じて各家族に責任をもつ

て利用してもらった。

- ・農業体験がほとんどない家族もおられたが、まやかみ農園の方から専門的な立場に立った指導や、それぞれの家族に直接関わっていただくことで楽しんで作業をされる姿を見ることができた。
- ・リピーターの家族が畑で育てている野菜等を見て学んでいる家族もいた。リピーターの家族が良いお手本になっていた。
- ・家族で協力して農作業や収穫体験をすることで、自然に会話がはずみ、微笑ましい光景が見られた。
- ・マスカットの収穫が初めての家族がほとんどで、マスカットハウスに入るだけで感激されている家族も多くおられた。
- ・第5回の活動後にアンケート調査を実施した結果、「参加する日時が選択できたり、少人数で活動できたりして有り難かった。」「密にならないので参加しやすかった。」「外での活動は安心して参加できた。」など、例年とは違う実施の仕方となったが好評であった。
- ・「野菜はスーパーで売っている状態でしか子供に見せられなかったもので、今回は本当に収穫させてもらうことができ良かった。」「子供たちと共同作業で畑作りや収穫体験ができて大満足しました。」「季節の野菜収穫ができ、旬の野菜で作った料理が楽しめ、農業・食の学習ができて満足です。」の感想から、家族(子供や孫と)で協力して農作業や収穫体験をする中で、農業の楽しさや大変さを知ることができ、充実した活動ができたのではないかとと思われる。
- ・活動を通して、「職員さんとたくさん関わることが良かったです。」「職員さんが色々お世話をしてくださって、子供たちが楽しんでいる姿を見ることができて嬉しかったです。」など、自然の家職員にとって心温まる感想もいただくことができた。

4. 今後の課題と展望

- ・新型コロナウイルス感染症予防対策として、家族の健康と安全を第一に考え、3密を避けるための工夫として分散での実施や収穫体験を中心に行った。コロナ禍で実施するにあたり、活動の工夫や内容の変更など、様々な面で感染症予防対策・衛生対策を積極的に進めた。
- ・年間スケジュールでは3回の野外炊事を計画していたが、新型コロナウイルス感染症予防対策の観点から、参加者同士の接触を避けるためにも調理や食事の提供を控えることとした。野外炊事を楽しみにされていた家族もおられたが、第1回「ファミリースペース決定」の際に、2回目以降の詳細な活動内容は、その都度往復ハガキでお知らせすることや、野外炊事中止の理由に対しても全ての家族に納得していただくことができた。
- ・新型コロナウイルス感染症予防対策・衛生対策の観点から、発熱等で体調がすぐれない方が参加しないようにするために、第1回から第5回までの受付は全て少年自然の家で行い、参加者全員に非接触型の体温計で体温と体調の確認及びマスク着用をお願いをした。
- ・今年度でファミリー農園クラブは9年目で、ファミリースペース活動を取り入れて8

年目であった。リピーターの家族が多いのも特徴であり、リピーターの家族が取り組んでいる様子を見ながら畑の耕し・畝作り・苗の植付けなどをする家族や、リピーターの家族から直接教わる家族もあり、他家族とコミュニケーションの場にもなった。

- ・ファミリースペースで家族と一緒に野菜を育てることで、野菜作りの楽しさ・喜び・難しさなどを感じてほしいと願っている。また、自分で育てた旬の野菜を食べることで野菜の本当の美味しさを味わい、「食」に対する興味や関心を高めてほしい。
- ・今年度はコロナ禍での活動になったため、3密を回避するためにファミリースペースでの活動や収穫体験が中心となったため、全家族が一堂に会することはできなかった。しかし、「来年度もコロナ禍での実施となるかもわからないが、参加されますか」との問いに、「子供と初めての体験づくしでした。また参加したいです。」「来年もチャンスがあれば参加してみたいです。」など、多くの家族が希望されていることを知った。

来年度も新型コロナウイルス感染症の状況等を踏まえ、引き続き参加される家族の健康と安全を第一に考え、感染症を正しく認識し、感染症対策を適切にとりながら実施方法や活動内容などを計画していきたい。